

日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

1. 基本情報	
(1) 案件名	2州における農業協同組合の有機農産物販売強化を通じた貧困削減事業 フェーズI
(2) 進捗状況	<input checked="" type="radio"/> (ア) ほぼ計画どおり進捗している <input type="radio"/> (イ) 計画より進捗している <input type="radio"/> (ウ) 計画どおり進捗していない
(3) 贈与契約締結日及び事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 贈与契約締結日：2016年3月4日 ・ 事業期間：2016年3月10日～2017年3月9日
(4) 供与限度額及び執行実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 供与限度額：米貨 338,963ドル ・ 実績：米貨ドル 176,510 (8月末まで)
(5) 団体名・連絡先、事業担当者名	<input type="radio"/> (ア) 団体名： <input type="radio"/> (イ) 電話： <input type="radio"/> (ウ) F A X： <input type="radio"/> (エ) E-mail： <input type="radio"/> (オ) 事業担当者名： 事業申請書記載から変更なし
(6) 事業変更の有無	事業変更承認の有無：無

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	プレアヴィヒア州有機米生産者組合連合とスバイリエン州農産物組合(SAC)が、共同販売事業の持続性を向上させることにより、貧困農民の生計が向上する。

(ここでページを区切ってください)

(2) 事業内容

本事業により SAC と同様農協による共同出荷が始まっているプレアビヒア州で新たに事業を拡大した。プレアビヒア州では現在 8 農協で組織されている「有機米生産者組合連合(農協連合)」に対し、新たに 4 農協を増やした。スバイリエン州では出荷センターを建設し、SAC が増大する出荷量に対応できるよう支援した。

1. プレアビヒア州の有機米生産者組合連合(農協連合)に新たに4つの農業協同組合を加える。

- 1.1. 事業開始時に召集する時間がなかったため、次期事業の計画形成時に関係者を召集し、事業のオリエンテーションを行い、コンバイン購入について話し合った。(参加者: 農協連合理事 8 名、農協連合職員 1 名、NGO 関係者、州農業局職員)
- 1.2. 有機米共同販売に関するオリエンテーションを 4 農協にてそれぞれ行った。(参加者: 組員計 285 名、農協連合職員 1 名、AMRU スタッフ 1 名、COorAA1 名、州農業局職員 1 名)その後登録希望者は 376 名に増加した。4 農協とも農協連合への加入を決めた。最終的に 4 農協で合計 315 名の農家が 477.9 ヘクタールの農地から 687.2 トンの有機米を供給するという契約(通常の買い取り価格 800 リエル/キロにつき上乗せされるプレミアム分は最高で 230 リエル/キロ)を AMRU 社と結んだ。
- 1.3. 新規 4 農協に有機基準に関する研修を 13 回に分けて実施。(参加者: 組員計 306 名)
- 1.4. 新規 4 農協に有機認定のための ICS(内部管理システム)研修を行った。(参加者: 組員 26 名) 研修参加者のうち 21 名が内部検査員になることに合意した。内部検査員を選出できなかったグループは有機米生産者リストから抜けることになった。
- 1.5. 新規 4 農協の国際有機認証機関エコサートの認証取得を支援する。(対象: 新規 4 農協の組員のうち有機栽培者 360 名)(9 月予定)
- 1.6. 新規 4 農協の米の収穫後工程改善のための技術研修を行う。(対象: 新規 4 農協の組員のうち 360 名)(10 月予定)
- 1.7. 新規 4 農協の組員を既存の農協に視察に招く。(対象: 新規 4 農協リーダー 28 名)(9 月予定)
- 1.8. 新規 4 農協の米の栽培状況、収穫後工程の管理をフォローアップする。(対象: 新規 4 農協の組員のうち 360 名)(9 月予定)
- 1.9. 新規 4 農協リーダーに対してニーズアセスメントを行い、運営及び財務管理の指導計画を立てた。実際のコーチングは 9 月以降を予定。

2. プレアビヒア州の農協と農協連合のマネージメントの能力強化を行う。

- 2.1. 農協リーダーに対する組合の基礎概念及び運営マネージメントの研修は事業開始時にトレーナーが辞職したため、開始が遅れている。(9 月以降開始予定)
- 2.2. 農協連合に QuickBooks 導入を勧め、スタッフに会計データ入力の指導を行った。IVY との役割分担を含めた MoU を作成したが、農協連合のマネジャーが会計入力業務を行うのを拒否しているため、MoU の同意が取れていない。
- 2.3. 農協連合に財務レビューと財務分析の研修を行う。(対象: 農協連合職員 2 名、理事 7 名、2 日)(12 月予定)
- 2.4. オーガニック業界リーダー育成研修のトレーナー育成研修を行う。

	<p>(対象:農協連合職員、有機農業関係者等計15名)(2月予定)</p> <p>2.5. オーガニック業界リーダー育成研修を農協、組合リーダーを対象に行う。(対象:プレアビヒア州農協リーダー24名、農協連合職員2名、スバイリエン農産物組合理事2名)(2月予定)</p> <p>3. <u>スバイリエン農産物組合の出荷センターを建設する。</u></p> <p>3.1. SAC出荷センターをSACの購入した土地に建設し、出荷業務を移行した。</p> <p>3.2. 出荷センターの使用方法について収穫後管理の専門家が研修を行った。(参加者:SACゾーンリーダー¹19名、職員2名)</p> <p>3.3. 組合理事及び職員に随時コーチングを行い運営の相談にのっている。現在は問題解決などを自分たちで行うようになった。</p> <p>3.4. 組合の顧問委員会を開催。メンバーは1名を除き前年から継続。IVYのプロジェクトコーディネータの後任を紹介。</p>
(3) 達成された効果	<p>【直接裨益者数】:</p> <p>プレアビヒア州チョムクサー郡の4つの農協組合員(592世帯)のうち有機米栽培農家360人、その他の郡を含む農協組合リーダー60人、農協連合スタッフ4人</p> <p>スバイリエン州農産物組合理事・ゾーンリーダー・職員30人</p> <p>【間接裨益者数】スバイリエン州農産物組合員(300世帯)</p> <p>1. <新規加入農協>プレアビヒア州チョムクサー郡の3つの農協、及びトベイミエンチェイ郡の1つの農協の315名が新しく有機米の共同出荷に関する契約を結んだ。有機基準研修への参加が有機認定に義務付けられているため、研修に参加しなかった71名は当初の有機生産者名簿から外した。研修に参加しなかった理由は他の農作業が忙しかった、情報が行き届いていなかった、ことが主な原因とみられる。</p> <p>2. <既存の農協と農協連合>今後達成予定であるが、農協の対象を既存農協ではなく新規4農協に絞ることを検討中。</p> <p>3. <SAC出荷センター>2016年前半のSACの野菜の出荷量は前年の同時期と比較して28%増。また粗利35%も確保されており、出荷活動は予想よりも順調と言える。これは首都の自然食品小売店の開店ブームがまだ続いており、SACのスタッフが顧客と信頼関係を構築してきていることが大きいとみられる。</p>

¹ 組合員300名の居住する3郡60村が19の出荷ゾーンに分かれており、そのゾーンのリーダーで組合員から野菜を集め、出荷場に運搬する。

<p>(4) 今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 315名の有機米共同出荷登録農家のうち数名が内部監査員を選出できなかったために ECOCERT の検査対象から外れる見込み。化学肥料を使用した畑との位置関係から一部の田は ECOCERT の認定がおりない可能性が高い。 ● 有機米共同出荷への新規登録希望者が激増している既存の農協での状況から考えると、初年度ということもありまだ多くの生産者が「様子見」をしている可能性が高く、来年新たに生産者が登録を希望してくる可能性は高い。 ● 4農協から AMRU 社が買い取る米の種類が香り米ではなく値段の安いホワイトライスになったため、買取価格は\$0.25/Kg 前後になるとみられ、4農協からの買取額は\$135,000 程度と予想される。 ● 農協連合のマネジャーは AFD(フランス開発庁)の事業で選ばれたスタッフであるが、事業関係者によると今後交代する可能性もあるため、農協連合スタッフへのキャパビリティはしばらく様子を見ることとした。 SAC の米、肉の出荷に関して、精米機へのアクセス、肉の加工技術を向上させる必要があるが、首都における鶏肉の需要は高いと見られる。
-------------------	--

<p>3. 事業管理体制、その他 トレーナーが辞任。プロジェクトコーディネーターが交代。</p>	
<p>(1) 特記事項</p>	<p>特になし</p>

中間報告書記載日：2016年9月9日
 団体代表者名： 代表 枝松 直樹 (印)

【添付書類】

事業内容、事業の効果に関する写真



有機米共同出荷オリエンテーションワークショップ（プレアビヒア州）



有機農業基準に関する研修（プレアビヒア州）



AMRU 社との MoU と契約栽培同意書署名式（プレアビヒア州）



ICS（内部管理システム）のフォローアップ



ほぼ完成した SAC 出荷センター（スバイリエン州）



SAC 出荷センター開所式（スバイリエン州）